

令和7年度大学院入学試験事前課題 (前期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」の2(2)には、「和音の指導に当たっては、合唱や合奏などの活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにすること。」*としている。

このような取り扱いは具体的にどのような学習活動によって意味のあるものとなるか。実践事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，p.126

◎ 声楽

小学校学習指導要領（音楽）で示してきた歌唱共通教材の一つ「ふるさと」（文部省唱歌／高野辰之作詞，岡野貞一作曲）は，教科横断的な観点からも様々な学習が期待される教材である。あなたならばこの教材を用いてどのような授業を行うか。あなたの考えを述べなさい。

◎ 器楽

器楽から得られる学びのうち，あなたが特に次世代へ継承していきたいことは何か。あなたの具体的な経験を交えながら述べなさい。

◎ 作曲

「音楽づくりの活動」で，見通しをもって音楽をつくるにはどのような状態が必要だと考えられるか，音楽そのものとの関わりがわかるように述べなさい。

この質問は，小学校で創作を行っている場面を念頭に置いてはいるが，あなた自身の経験に関わらせて考えてもよい。

◎ 音楽学

平成18年に改正された教育基本法では，前文に「個人の尊厳を重んじ，真理と正義を希求し，公共の精神を尊び，豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに，伝統を継承し，新しい文化の創造を目指す教育を推進する」と示されている。

「伝統を継承」することと「新しい文化の創造」とは，どのように関係しているか。また，「伝統を継承し，新しい文化の創造を目指す教育」とは，具体的にどのようなものが考えられるか。音楽科または芸術科音楽に関する具体的な事例を取り上げつつ，あなたの考えを述べなさい。